

節水PRのステッカーの紹介



生命の水 使うあなたが まず節水

節水方法の一例

■家庭における節水

- 歯磨き、洗面、手洗い時流水はしない。
- 食器はため洗いで。
- 食器や調理器具の油分は、紙で拭いてから洗う。
- お風呂の残り湯は捨てずに再利用。(洗濯、トイレ、拭き掃除、庭の散水)。
- シャワーの回数を一回でも減らす。
- 洗車は、ホースを使わずバケツを使用。

沖縄県水対策連絡協議会

沖縄総合事務局、沖縄气象台、沖縄県、那覇市、浦添市及び沖縄市で構成する沖縄県水対策連絡協議会は、県民の皆さまへ節水を呼びかけるステッカーを作成しました。

昨年末からの少雨傾向でダムの貯水率が減少し、气象台の長期予測でも少雨傾向が続くとみられています。まずは、家庭における節水例を参考にして身近なところから節水を心がけましょう。

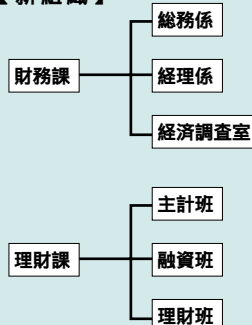
組織規則の改正について

平成十四年四月二日から沖縄総合事務局組織規則が一部改正され、課等の名称等が変わります。主な変更内容は、次のとおりです。

財務部

企画・立案等のための情報収集機能の強化を図るため、理財課の経済調査部門を財務課へ移し替える。
業務の推進体制の一層の充実強化を図るため、財務課の主計部門、融資部門を理財課へ移し替える。

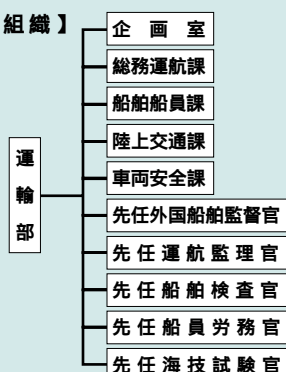
【新組織】



運輸部

「海運第二課」が、総務運輸課に、「海運第一課」が、船舶船員課に、「陸運第二課」が、陸上交通課に、「陸運第一課」が、車両安全課に課名を変更する。
先任外国船舶監督官を新設する。

【新組織】



編集後記

三月に入り、やはるからはつじの花が咲き始めたとの花便りが届きました。局内では、平成十三年度末をむかえ各部署とも年度内に完了する業務についての追い込みの時期でもありつつ、祭りどころやないよとの声も聞えてきます。今年度は、二十一世紀最初の年度でもあり明るい話題に満ちあふれた年度になるものと期待していたのですが、残念ながら、こと年度当初から不祥事が問題になり、信頼を回復するために気を引き締める年度になってしまいました。平成十四年度は、沖縄振興新法が施行され新たな沖縄振興計画の策定を進める重要な年度になります。沖縄復帰三十周年記念式典が開催されるなど沖縄県にとって節目の年になりそうです。群星5月号では、沖縄振興特別措置法の概要を特集で掲載する予定です。

群星 Muribushi

局報 3月号
平成14年3月発行 通巻第281号
編集・発行 内閣府沖縄総合事務局総務部
総務課
〒900-8530
沖縄県那覇市前島2-21-7
TEL 098-866-0031・0041(代表)
FAX 098-869-6656
ホームページ URL: <http://www.ogb.go.jp>
E-mail: koho@ogb.cao.go.jp

局報「群星(むりぶし)」は、沖縄の方言で「群星(むりぶし)」とは「沖縄の方言で、昂星(すばる)のことである。それは、あたたかも広大な海域に点在する数多くの島々から成る沖縄を象徴している。また、群星は沖縄の真上を運行し、昔から農事等の盾としての目安となり親しまれている。局報「群星」は沖縄の発展の指針となり、県民に親しまれるようにとの願いを込めて命名したものです。